

よしかわ

News from Yoshikawa City Council

議会だより

No.187

2020.11

発行：吉川市議会
編集：吉川市議会広報委員会
〒：342-8501 吉川市きよみ野一丁目1番地
TEL.048 (982) 9421 (議事会事務局 直通)
FAX.048 (981) 5392
<http://www.city.yoshikawa.saitama.jp>



目次 CONTENTS

定例会概要・決算	2
7月臨時会概要	5
委員会審査概要	6
答えて市長！一般質問	8
議員提出議案（決議・意見書）	12
審議結果	14

議会だよりが
スマートフォンでも読めます

マチイロ

検索



9月定例会 概要

令和元年度決算を認定！

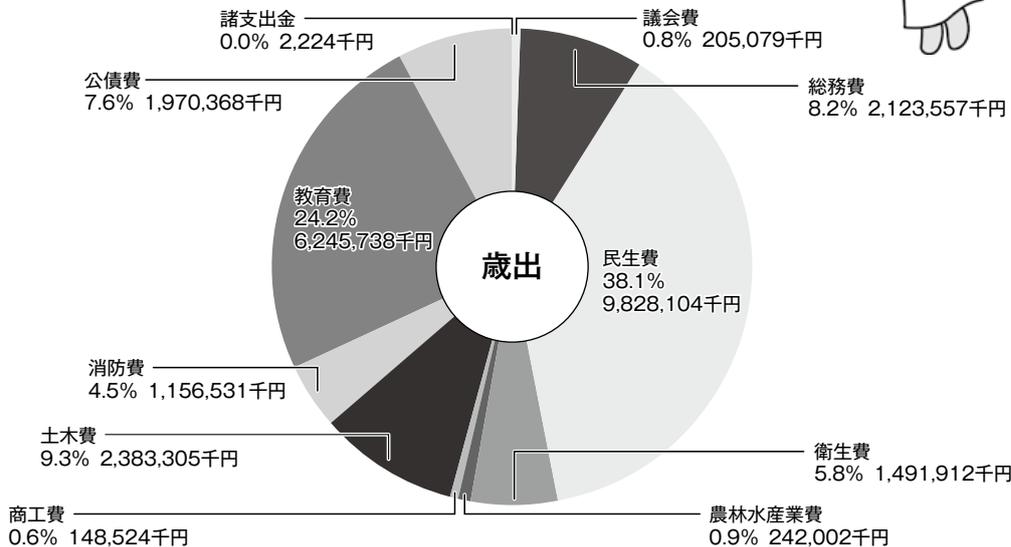
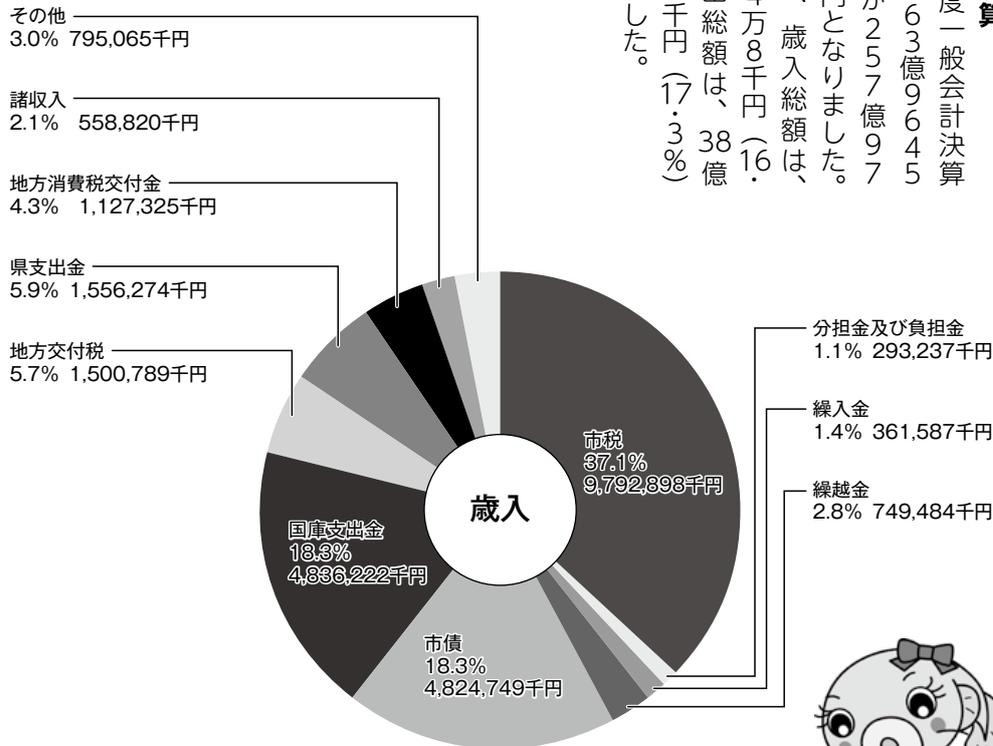
令和2年9月定例会は、9月2日から9月24日までの23日間の開催となりました。

今定例会では、令和元年度一般会計決算の認定をはじめ、令和2年度吉川市一般会計補正予算（第5号）などの市長提出議案14件（2～5ページ・委員会審査概要は6ページ～7ページ）、議員提出議案として5件の意見書（13ページ）などを審議し、議決しました。（審議結果は14～15ページ）
その他、「市政に対する一般質問」（8～12ページ）をお知らせします。
なお、7月に行われた臨時会については5ページでお知らせします。



◆一般会計決算

令和元年度一般会計決算は、歳入が263億9645万円、歳出が257億9734万4千円となりました。前年度比は、歳入総額は、36億6274万8千円（16.1%）、歳出総額は、38億1312万6千円（17.3%）の増となりました。



◆令和元年度に実施された事業

◆吉川中学校建設工事

平成30年度から約2年をかけた建設を進めていた吉川中学校は令和元年に、校舎の建設工事などを実施し、令和2年4月に開校しました。



(市議会では建設の様子について視察も行いました)

◆すべての小中学校にエアコン設置

市議会として要望書を提出していた、全校一斉のエアコン設置が実現しました。

◆第二保育所再整備事業

築45年が経過した第二保育所の建て替え工事を実施。公設公営を維持し、令和2年3月25日に新しくなった保育所での事業が始まりました。



◆幼児教育・保育無償化

子ども・子育て支援法の改正により令和元年10月1日から、幼児教育・保育の無償化が実施されました。

◆公用車にドライブレコーダーを設置

既存の公用車66台と昨年度新規に購入した公用車5台の合計71台にドライブレコーダーを設置しました。

◆市民農園整備

駐車場の出入口部分を広げるための門扉の撤去や、既存の砂利駐車場を平らにして駐車場にロープを張る工事を行ったほか、農園内通路部分を整備するため、砂利敷き工事を行いました。

◆吉川美南駅東口周辺地区整備

平成29年度より事業を開始し、令和元年度は、盛土造成工事や水路工事などを実施しました。



◆特別会計・事業会計

特別会計には、皆さんの健康保持に欠かせない国民健康保険、介護保険及び後期高齢者医療事業、また、快適に暮らせるまちづくりを進めるための農業集落排水事業、吉川美南駅東口周辺地区の整備を行うための吉川美南駅周辺土地区画整理事業、日々の生活には欠かせない水道事業、下水道事業会計及び下水道事業会計があります。決算は左表のとおりです。

(単位：千円)

会計名		歳入	歳出
国民健康保険		7,178,737	7,012,733
農業集落排水事業		31,431	29,454
介護保険		3,721,778	3,543,579
後期高齢者医療		676,111	657,101
吉川美南駅東口周辺地区土地区画整理事業		2,308,326	2,306,548
下水道事業※	収益的	1,491,628	1,363,779
	資本的	620,418	87,943
水道事業※	収益的	1,555,690	1,445,261
	資本的	123,313	689,349

*資本的収入が資本的支出に不足する額は、過年度分損益勘定留保資金等で補てん。

決算討論

【一般会計】

一般会計決算に対し、4名が討論をおこないました。

― 反対討論 ―

日本共産党吉川市議員団

遠藤 義法 議員

市の事業は地域や年齢、団体等で格差なく、平等に行うことが大前提です。タフシー利用券補助事業、市街地の75歳以上の高齢者を除外していますが、差をつけるべきではありません。地域公共交通もみんなで考えることです。

消費税増税やコロナ禍で市民生活は厳しい生活実態です。65歳以上で障がいを負った方を医療費助成から除外し、さらに所得制限を設けた。障がい者や高齢者などへの施策後退を改めるべきです。

― 賛成討論 ―

未来会議よしかわ

稲葉 剛治 議員

中原市長、職員の皆様が丸となり事業を進めてこられたこと。また、コロナ感染症拡大に伴う市民生活への影響、前例がない状況においても臨機応変に対応されたことに対して改めて敬意と感謝を申し上げます。今後の市政運営においてはコロナ禍の影響を含め数々の困難があると考えられます。吉川市が目指す「幸福感のある街」「持続可能な街」の実現に向けて、引き続き力を尽くして頂くことを期待し、賛成討論と致します。

公明党吉川市議員団

大泉 日出男 議員

令和元年度決算において特に評価すべき事業としては、▼市内全小中学校教室へ国の補助金を活用しエアコン設置。

▼SDGs事業計画の推進。

▼避難行動要支援者への迅速且つ確実な避難情報の提供。

▼幼児教育・保育の無償化及び類似施設利用者への支援。

▼2力所の保育所新設により国基準の待機児童を減少。

▼コロナ禍中「子どもの応援配食サービス」実施など、重要な事業を多く実現された事を大いに評価し、賛成します。

市民の会・無所属

伊藤 正勝 議員

今回の決算。特記すべきは吉川中学校完成、小中学校12校の空調設備。それに幼児保育の無償化。中学校は将来の生徒減少時も見据え、随所に時代を先取りする工夫。空調設備は議会も早期設置要望。「コロナ夏」に間に合う。スピーディ、グッドタイミング。ピーディ、無償化は10月1日から実施。3歳から5歳児中心で保護者負担大幅減に。市は53

1事業全部を内部で評価。公表。が、市長主導の演劇等は外部評価も必要です。

【国民健康保険特別会計】

1名の議員が討論をおこないました。

― 反対討論 ―

日本共産党吉川市議員団

雪田 きよみ 議員

国保が都道府県化され、今年は3年目を迎えました。県の方針では2026年度までに赤字を解消するというところで、市でも赤字解消計画を立てています。しかし、国保の赤字とされる法定外繰り入れをやめてしまえば、滞納が更に深刻になることは火を見るよりも明らかです。全国知事会が求めている1兆円の公費投入は、今現在3400億円に向けて、更に尽力されることを心から願います。

いました。

― 反対討論 ―

日本共産党吉川市議員団

雪田 きよみ 議員

市の介護保険給付費準備基金は9億2555万4000円です。にもかかわらず、介護保険料はスタート当初の約2倍、その一方でサービスは利用抑制が進められ、介護報酬も介護職員の給与も低く抑えられ、介護職員の離職が続いています。介護の社会化を目指して始めたはずの介護保険制度は、今では自立や自助・共助ばかりが求められています。基金の積み上げではなく、制度の充実に向け、国や県と共に検討していくべきです。

【介護保険特別会計】

1名の議員が討論をおこないました。





主な議案のあらまし

◆令和2年度吉川市一般会計
補正予算(第5号)

既定の歳入歳出に3億6984万7000円追加し、総額は320億1863万2000円となりました。

・予防接種事業

906万8000円

インフルエンザの流行と新型コロナウイルス感染症拡大が重なる危険を低減するため、中学生以下の市民を対象にインフルエンザ予防接種費用の一部助成を行います。

・市民交流センターおあしす
等管理事業

369万5000円

コロナ禍における新生活様式に対応するため、市民交流センターおあしす内にWiFiを整備し、インターネット環境を整えることで、館内でリモートワークやリモート学習ができる環境を構築します。

― 討 論 ―

一般会計補正予算に対し、1名の議員が討論を行いました。

賛成

岩田 京子議員

当補正予算の中心はコロナ対策。市民要望の多かった公施設や公園のトイレの洋式化・インフルエンザの助成金の拡大・おあしすの無線LANの工事・次年度予定されていた公園の前倒し整備。元々やる予定の事業にコロナ対策の交付金を充て、基金に蓄えた額・約3億円。これからコロナの影響は一段と厳しくなるだろう。吉川市の人々・経済活動の実情をしっかりとらえ、寄り添った支援を進める

備えと考え、賛成する。

◆令和2年度吉川市介護保険
特別会計補正予算(第1号)
包括的支援事業

194万4000円

市が購入する車両を地域に貸出、地域で自主的に行っている買い物などの生活支援の取り組みを推進します。

◆工事請負契約の締結について

・吉川美南駅東口周辺地区1号調整池工事(その2)の請負契約を締結します。
・都市計画道路越谷吉川線工事(上部工・護岸工)の請負契約を締結します。

◆財産の取得について

市内小中学校で児童・生徒教員用タブレット端末を購入します。

◆人事案件

・教育委員会委員
教育委員会委員の小林照男氏が令和2年9月30日をもって任期満了するため、再度任命することに同意しました。

7月臨時会概要

7月31日に行われた臨時会では、令和2年度吉川市一般会計補正予算及び令和2年度水道事業会計補正予算の2件について審議されました。

◆令和2年度吉川市一般会計
補正予算(第4号)

既定の歳入歳出に、それぞれ7億9213万5000円を追加し、歳入歳出予算の総額は316億4878万5000円となりました。

「こんなことに使われます」

・新生児子育て応援商品券
給付事業

4844万3000円

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用し、国の特別定額給付金の基準日以降(令和2年4月28日から12月31日)に生まれた新生児に対し、一人につき10万円の商品券の給付を行います。

・事業継続支援事業

8029万4000円

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用し、売上高が前年度比20%減少した事業者に支援金を給付し、国・県の家賃支援の対象外の事業者に対しては賃貸に対する追加給付を行います。

・教育振興事業(小・中学校)

3億3054万8000円

国の公立学校情報機器整備費補助金や新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用し、児童・生徒に1人1台のタブレット型端末を整備します。また、家庭学習用の通信機器としてモバイルルーターや、遠隔学習用配信機器としてPC用のカメラ・マイクを整備します。

◆水道事業会計補正予算

新型コロナウイルス感染症対応として水道料金の減免を行うため、一般会計から3300万円の補助を受けました。

委員会審査概要

総務水道常任委員会

◆一般会計決算認定

公用車のドライブレコーダーについて。

公用車71台に設置。効果としては平成30年度までは平均10件程度あった公用車の事故件数が、昨年度5件、今年度は今のところゼロに。

職員研修事業について。

「ファシリテーション」組織力「接遇」を重点事項とし、外部講師を招いて実施している。SDGs基礎講座は今年度も継続予定。

賛成多数で認定



◆水道事業会計利益の処分及び決算の認定

吉川市に貸付けた金額・利息はいくらか。誰の判断か。

令和元年7月に相談があり、10月に貸付、令和2年3月末に償還があった。貸付利息は約63万円。貸付額は一般会計に7億円・特別会計に3億円、合せて10億円。水道事業からの貸付けは初めてで、市長の判断である。

賛成全員で可決及び認定

◆吉川市一般会計補正予算

財政調整基金△3億3253万3千円が計上されているが、財政調整基金の残高は。昨年度は資金不足になったが、今年度の状況は。

9月補正後の残高は7億9545万4千円。昨年は中学校の建設費の支払いが国庫補助金の入金前で、一時的に現金が不足し、水道事業から借り入れた。今年は大規模事業

の予定はなく現金不足にはならない見込み。

新型コロナウイルス臨時交付金に対する市の事業費の金額は。

第2次分交付額の限度額4億8819万3千円に対し、これまで計上した4億6554万7千円他、旭小、栄小のトイレの洋式化の工事費の一部5千万円を合わせ、5億1554万7千円を9月末に申請する予定。

賛成全員で可決



文教福祉常任委員会

◆一般会計補正予算

コロナ禍において、様々な相談があると思うが、現状は。

4月から8月までの5ヶ月間で、住居確保給付金の申請が42件。4月、5月の申請者は、延長申請の時期を迎えたが、半数が延長した。

コロナ対策として、トイレの改修が挙げられているが、今回の改修の内容は。

地区公民館を含め、洋式化18ヶ所、床の乾式化8ヶ所、蛇口のプッシュ式化23ヶ所。

賛成多数で可決

◆一般会計決算認定

平成30年度は、自殺対策計画を策定したが、計画を推進するにあたり、会議を開催したのか、また、推進する中で自殺された方の状況について伺う。

平成31年3月に自殺対策計

画を策定した。自殺対策推進協議会を令和2年3月に開催する予定であったが、コロナ禍であることから、集まるとの会議は開催せず、委員への進捗状況の報告や意見等を求めたところである。また、当市の自殺された方の推移については、令和元年度10人、平成30年度13人と把握している。

令和元年度は幼児教育、保育の無償化が開始した。対象児童数は。3歳以上で概ね2000人となる。

無償化の影響により待機児童が増えるとの話を聞くが、実態は。待機児童は令和2年4月3人、平成31年4月8人であり、すべて1歳児である。

すべての小中学校にエアコンが設置出来たが、エアコン使用時における子どもたちの様子は。

今年度夏休みが短縮され、エアコンの設置がされていなければ、非常に厳しい状況であったと思われる。熱中症対策及び子どもたちの精神衛生上にも良かったと思う。

賛成多数で認定



建設生活常任委員会

◆工事請負契約の締結（吉川美南駅東口周辺地区調整池工事）について
貯水量10万トンの根拠と、事業スケジュールについて。
開発面積1haあたり950m³及び湛水量を加えた数量としている。また、全体事業ス

ケジュールとしては、令和4年度の完成を予定している。

調整池の大きさを、当初計画2・5haから3・75haへ変更した理由と、多目的広場の考え方について。

地権者や市民に示した「まちづくりコンセプト」の中で多目的利用の整備について決まった。調整池の機能を損なわず、多目的広場として利用できる範囲で計画している。

賛成全員で可決

◆一般会計決算
市民参加推進費、「地域課題を地域で解決するための勉強会」の成果について。

4つのテーマに分かれて、会議や先進地視察等を行ってきた。成果としては、「自治会課題の解決」の分科会で、「自治会館・備品の相互貸し借りリスト」を作成した。
生活環境費、残土収集処分委託料と予防接種委託料について。

残土処分は、自治会等が側溝清掃を行った時に排出されるヘドロを収集処分する委託料。予防接種は、現場対応で

破傷風にかからないよう、環境課に異動してきた2名に接種した。

賛成多数で認定

◆一般会計補正予算
公園費、保第三公園の工事の経緯と目的について。

臨時交付金を活用して、公園内の空気の滞留防止や公園内外からの視認性の向上、社会的距離の確保を容易に行えるなど、公園を安心して利用できる環境を整えることを目的とする。

賛成全員で可決



注目の議案

◆一般会計補正予算
トイレの洋式化を行います

国の新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用し、市内公共施設のトイレを洋式トイレに改修します。

洋式トイレを設置することで、蓋を閉めて水を流すことができ、菌の飛散を防止できるようにします。



**フタを閉めてから
流してください**

○洋式化する施設
老人福祉センター・第一保健所・保健センター・中央公民館・東部地区公民館・平沼地区公民館・

市民交流センターおあしす・総合体育館・市民プール（屋内）・旭公園球場・9公園（川野公園、川富公園、保公園、木売公園、高富公園、高久公園、道庭公園、きよみ野第4公園、月の公園）・市民農園

◆工事請負契約の締結について（吉川美南駅東口周辺地区1号調整池工事）
13億240万0000円

吉川美南駅東口周辺地区の開発に伴い、増加する雨水の地区外への流出量を抑制するため、開発区内に雨水流出抑制施設として調整池を設置します。1号調整池は、本来の目的である雨水の流出抑制をする治水施設のほか、多目的に使える空間を確保する計画です。令和2年度は、治水計画が必要となる雨水容量を確保するための掘削工事、その掘削工事による地盤の滑りを防止するための地盤改良工事を行います。

三輪野江地区の今後の 在り方について

中嶋 通治



問 都市整備について庁内連携会議は何回開催したのか、進行状況は。また、近隣市との協議状況、地元住民との協議、地区の人口動静は。

答 元年6月に6室課で8回開催。三郷市とは情報を共有している。地元住民との懇談はコロナの為に外向くことが困難。人口は285人減少。リーダーシップを取り、丁寧にビジョンを示し、必ずやるという意識が必要である。

問 開発手法は色々あるが如何か。

答 今まで区画整理の話があったが反対があり中止。地域の皆さん、地権者の方にしっかりした意思表示が必要。国は農地保全の意向が強い。難しいがしっかりと進めて行く。

◆テクノポリスの開発状況について

問 市の対応、県、企業局との協議は。

答 東埼玉道路、浦和野田線に隣接する当地区は土地利用の可能性として資質がかなり高い。農林協議にあたり指摘を受けている三輪野江地域の農用地から除外されている白地地区の整理について埼玉県と6回協議、企業局は農林協議の進捗に合わせ対応する。

次代に繋ぐ「農業創生」実現に向け 「人・農地プラン」の促進を

五十嵐 恵千子



問 ①昨年、千葉大園芸学部へ委託し回答を得た提言書の内容は。②第6次吉川市総合振興計画へ新たな農業振興を位置付けることへの見解と吉川市「人・農地プラン」実質化への進捗状況・推進体制の強化について伺う。

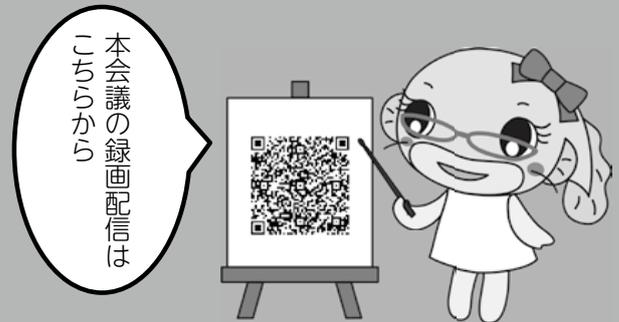
答 ①「市の地理的有利性を活かした集約的園芸産業への転換」「果樹農業等の可能性」「稲作の自動化・効率化・大規模化の推進」「農福連携の可能性」などの提言であった。②「人・農地プラン」の更新作業で出された意見等を踏まえ、計画に位置付けたい。また、実質化が進まないのは、地域に根差していないからと感じ、現状を改善すべく、学校給食に用いるなど販路拡大に力を入れてきた。また、産業振興条例に理念を打ち立て、計画推進のために集会・会議等で意見を吸い上げ課題を共有している。今後、計画を促進するためには、地域の農業従事者や地権者だけでなく、様々な形でチャレンジ出来る可能性のある方達も含めて検討すべきと、一歩進める動きが始まった。また、市民参加推進課の職員等を始め、多くの職員ネットワークも使った職員体制と理解してほしい。

答えて市長！ 一般質問

今定例会では、16名の議員が市政全般にわたり、市の見解をただしました。

主な内容を質問者が要約してお知らせします。詳細は会議録をご覧ください。

会議録は、ホームページや市立図書館で閲覧できますが、今定例会の会議録の提供は、12月上旬となる予定です。



学校教育に関する事業

林 美希



問 会派を代表して質問する。当会派が要望した旭・三輪野江小スクールバス運行実施を経て、今後の児童の安全確保策は。

答 実際の費用や運行上の課題を見ることができた。対策は持続可能でなければ意味がなく、防犯面、子どもの体力面、様々両立させていくため、どこまで対策を図っていくかは大変悩ましい課題。市も学校も子ども達の安全を第一に考えている。今回得た成果や課題を踏まえ、保護者や地域と共に検証していくことが重要。

問 児童生徒一人にタブレット端末一台実現。ICT環境の整備は目的や理念を達成するための手段と考えるが、市の考えは。

答 教育の効果をより深め、高めるために、各教科の特質を生かしながらICT機器を活用する。主体的に学ぶ力ややり抜く力、協調性などの習得、学力・体力・非認知能力の向上につなげていく。

あらたな生活様式へ 地域交通網の推進を

大泉 日出男



問 ①タクシー利用助成金事業の実態調査と利用状況。②タクシー宅配の導入検討は③MaaS協議会をうけ当市の取組みは。

答 ①平成29年から比べ約2倍の795人の方が利用、今後は検討委員会を設置。②国の動向をふまえ推移を見守る③意見交換をし、構成団体と研究したい。

◆あらたな生活様式での消費、商品券の促進を

問 ①今回の商品券を含め課題は。②当市独自のGo To Eatキャンペーンの展開は。

答 ①完売にはならず2回目の販売は完売。HP広報紙で再度周知をしていく。②感染防止策を徹底した上で商工会が本事業を展開し易いよう後押しする。

◆高齢者対象へエアコン補助金を

問 直近3ヶ月で65歳以上の方が熱中症で緊急搬送されたのは何名で、その内エアコン設備が入っていなかった方は何名だったか。

答 9人でその内エアコン未設置者数は不明。防災無線で注意喚起し早めの予防策を周知。

信号機のない横断歩道の歩 行者優先徹底、治水対策は

赤出川 義夫



問 昨年JAF公表の信号機のない横断歩道停止率、全国平均17.1%、埼玉県11.6%、私の調査では、吉川市4.2%と低い、市の取組は。

答 市としてもJAFの調査結果を承知している上で、横断歩道での歩行者優先の意識の定着を図るため、8月にホームページでの啓発、9/2イオンタウン吉川美南店内において警察とともにリーフレットなどを配り啓発活動を行った。

今後につきましても、警察とともに様々な機会を捉えて、歩行者への交通安全への周知とドライバーへの横断歩道停止の意識の定着に努めていく。

◆治水・災害対策について

問 中川の堤防整備、高富～高久間の堤防高上げ工事の進捗状況は。水害・地震発生時の災害ごみ仮置場の受入時間は。民間の空地等、災害時利用協定の検討を。

答 中川の堤防高上げ工事要望について、現在、下流の八潮地域から順次、堤防工事を進めており、木売から高久にかけての具体的な着年時期は未定。災害ゴミの仮置場3カ所。受入時間は、柔軟に対応していきたい。

2事業者と災害協定締結 感染対策で車中泊避難も

降旗 聡



問 感染症対策が求められるなか、豪雨災害などの際の避難所開設のあり方について、細心の注意が求められている。市内事業者との協定締結の進捗と協定内容、一時的な車中泊避難についての見解は。

答 今年7月以降、新たに2事業者と協議を開始し、1事業者と協定を締結した。

現在、「洪水等の災害における一時避難場所施設利用に関する協定」を2事業者と締結している。

また、2つの施設で協議を進めている。

協議内容は、各事業者に承諾をいただいた範囲や条件で一時避難場所として、駐車場を含めた施設利用に向けて調整を図っている。

一時的な車中泊避難については、コロナ禍における大雨が予想される場合の避難において、2階以上の安全な場所への垂直避難や、親せきや友人宅などへの避難と同時に、車中泊についても分散避難の一つとして有効であると考えている。

しかし、移動中の車両水没事故、健康面やトイレの問題など課題があるので、注意喚起、啓発をしていきたい。

なまりんバス貸出し拡大について

小野 潔



問 各自治会や自主防災組織から、なまりんバスを借りたいとの声があるが拡大しては。

答 一定の条件のもと拡大できるかについて検討していく。

◆右折矢印信号・案内板の設置を

問 県道葛飾吉川松伏線の美南セキ薬局、ジュピター動物病院、吉川駅北口入口、北口スクランブル各交差点へ右折矢印信号を。一之橋手前に「車線減少」等の看板を。

答 吉川警察と協議しているが右折矢印信号は難しい。看板は協議する。

◆中川堤防木売高久間の高上

問 高上げについて公明党矢倉参議院議員と国交省より話を聞いた、「早い時期に」との答えを頂いたが当市で得ている情報は。

答 工事時期は未定と聞いている。

吉川美南東口地区開発での「訴えの提起」を再度問う

稲垣 茂行



問 「訴えの提起」はいつ行ったのか。裁判の現状と見通しは。

答 4月30日付けで埼玉地裁越谷支部に訴状を提出し、受理された。しかし、新型コロナウイルスの影響により、裁判期日の指定がされず、今後の見通しは立っていない。

問 重機やコンテナハウス残置に至った原因、理由、経過は。

答 仮換地に対する不満であり、減歩率や位置だと認識。平成30年12月から、事業への反対を表明され、令和元年8月上旬から現地に碎石やコンテナが置かれた。

問 裁判の目的は「碎石」の撤去だが、これを相手側の物であると特定した根拠は。

答 市は、令和元年8月に「碎石」が搬入されたのを確認した。令和2年3月3日の仮処分執行に於いても、裁判所の執行官が認定した。

問 裁判が与える影響及び「和解」は。

答 多くの地権者が早期の事業完了を望んでおり、理解頂けると考える。市議会での意見もあり、本年5月に「和解案」を送った。

感染対策を考慮した避難所の確保と運営、中川の治水対策を

雪田 きよみ



問 市の避難所は、コロナ禍1,800人の収容が可能。昨年の台風19号で避難した人は800人近く、中曽根小には約400人が避難。同規模以上の豪雨水害の発生を予測し、避難所の大幅な増設が必要ではないか。

答 避難所以外でも安全を確保できる場合には、親戚・友人宅等への分散避難を周知している他、民間事業者と調整をしている。

問 避難所難民が発生する可能性は。地域ごとに避難先を決め、数値的な避難計画を立てるべき。

答 地域の自治会・自主防災組織の研修会でそのような意識付けを行えばと思う。

問 中川の浚渫（川底をさうこと）について、江戸川河川事務所との交渉の進捗状況は。

答 中川・綾瀬川流域計画書で必要となる掘削は完了しているとお話だった。中川・綾瀬川河川流域改修促進期成同盟会や市長からも毎年築堤の嵩上げの要望をしている。弥生橋から旧市役所付近までの左岸側の樹木の伐採を令和元年度にやっていた。今後とも治水対策として、国の方に要望等していきたい。

SDGs 実践的な取り組みへ [知る] から [動く] の十年へ

岩田 京子



問 SDGs 17の目標は2030年達成を目指す。この十年は [知る] から実際に [動く] ことが大切。目的達成のためには野心的な取り組みが求められ、1つの事業の中で多くの目標、できたら17の目標すべてを意識して取り組むことが重要だが、認識は。

答 新規事業を行う際、目的をはっきりさせて取り組むが、1つの目的だけでなく、2つ、3つと兼ねられないか日頃からも心がけている。

問 住宅改修補助事業があるが、単なる事業者支援の視点だけでなく、気候変動対策のために、エコ住宅改修の視点を取入れたらどうか。

答 当事業は450万円。事業者支援と市民の住宅環境の向上を目的とする。

問 それでは今までと変わらない。様々な目的を兼ねることが大切と言っている。例えば第1弾はエコ住宅改修やSDGsに貢献する改修の募集とし、予算が残った際は第2弾で通常の募集をする等、市民と共にSDGs達成に向けた取り組みを優先する工夫が必要では。

答 エコ化を図ると、受付がどうなるか。周知はするが、現段階では推移を見守り今まで通り。

吉川美南東口道路整備を早急に

飯島 正義



問 吉川美南駅東口周辺地区開発が進んでいます。今後、新栄、栄町地域から吉川美南駅への路線バスの運行、一般車の通行のために道路整備を急いで進める必要があると思います。今後の計画は。

答 バス事業者と市役所から吉川美南駅東口間の路線バス運行について意見交換をしています。具体的なルートやその他、条件についての話には至っていない状況です。

◆買物弱者への積極的な支援を

問 三輪野江、新栄、栄町地区の皆さんから、「お店がつぶれてしまい、何とかしてほしい」との声が寄せられています。市は早急な対応を。

答 地域住民が自発的に行う買物支援の移動手段として活用していただくため、市が軽自動車を購入し貸し出します。また移動販売については、市内のスーパーマーケットにおいて移動販売を行う個人事業主を募集しています。市は、住民主体による互助を基本とし、支え合い、助け合いの地域づくりを推進していきたいと考えています。

天の贈り物。活用の検討を
吉川第2最終処分場問題。

伊藤 正勝



問 吉川第2最終処分場は2年以上使用中止。東京ドーム球場を上回る広さ。現況の説明を。

答 8月に地元関係者への説明会。使用中止の理由や今後について協議した。

問 旧第1処分場の跡地利用の実状は。

答 2万800㎡のうち1万6千㎡は美南の公園用地。残りは吉川美南消防署の敷地に。無償で借り費用負担はない。

◆吉川のPCR検査の実状は

問 吉川のPCR検査の実状は。

答 吉川・松伏医師会の協力で5月22日から「行政のPCR検査センター」を開設。8月から隔週3回に。医師が必要と認めた人が対象。9月14日現在212人を検査。陽性者は8人。検査施設は間仕切り。消毒の徹底等安全衛生につとめ、検査関係者は防護服や専用マスク。ウォークスルー方式で万全を期している。検査専用車は借りることに。民間病院の検査状況は公表がなく把握していない。

越谷総合公園川藤線整備と
地域の生活道路整備促進は

松崎 誠



問 東埼玉道路から新川橋まで道路整備の促進と新川橋の橋の架け替えは。

答 東埼玉道路の自動車専用部の新規事業化や当市の川藤から松伏町田島までの一般部側道延長約3.8kmの共有部分が公表され東埼玉道路の整備効果を最大限に生かすためにも早期事業化が図れるよう関係機関と情報交換を進めると共に、整備に向けた調査や検討を進めていきます。また、新川橋の架け替えについては、橋の構造基準の見直しがあり大幅な改修や架け替えが必要と考えています。全体的な整備計画を検討する中で事業費の把握に努めていきます。

問 調整区域内の道路事情と道路舗装整備は。

答 道路の補修に関して年間で約700件の要望に対して、現地の確認や道路パトロールによる目視点検を行うと共に路面整備の調査を行い、数値による破損状況の把握を行います。舗装の損傷が目立つ路線においては損傷の程度を見極め、必要に応じて緊急な措置を講じます。破損が徐々に進行している場合には道路管理瑕疵事故に発展することが無いよう、破損個所の舗装修理工事を発注する中で対応していきます。

三輪野江地区農地保全エリ
アの住民意思を問う

吉川 敏幸



問 現在の第五次総合振興計画に無い三輪野江地区の区分け。この三輪野江地区120haのうち、農地保全エリアの地権者のうち意思表示をしている賛成・反対の詳細を問う。

答 46世帯中38世帯から回答があり、賛成者はゼロ。

問 千葉大学からの吉川市農業の新展開に関する提言書を実現するための課題は何か。

答 生産者自身が果樹等の高収益な作物に事業転換を図るという考え、気持ちに持っていけるかどうか。

問 高収益の作物への転換は多額の初期投資が掛かる。そういったところへの支援は市として、どう考えているのか。

答 千葉大学からの提言書の内容に基づく支援策はまだ出来上がっていない。こういった支援が出来るのかしっかりと検討していきたい。

◆持続可能な農業への市の計画を問う

問 人・農地プランの作成のスケジュールは。

答 今年度に旭地区、来年度に三輪野江地区、令和4年度に吉川地区のプランを作成する予定。

東埼玉道路専用部の
アクセス道路整備計画は

遠藤 義法



問 国土交通省は今年4月、東埼玉道路に専用道路を20年度に新規事業化することを発表した。須賀・榎戸地域の越谷総合公園川藤線と交差する地点にインターチェンジが計画されている。①越谷公園川藤線の整備計画、三郷吉川線のT字路までの工事スケジュールと事業主体は。②アクセス道路である三郷吉川線（さくら通り）の関小学校から以北の事業化は。

答 アクセス道路等について国・県や沿線自治体で整備調整会議が立ち上がったので、財源を含め具体的協議に入る。越谷吉川線についても、埼玉県と事務レベルで協議に入っている。

◆加入者負担のない県の国保運営方針に

問 埼玉県は、令和3年度から5年度までの国民健康保険運営方針を決めた。①保険料水準の統一を図るとしているが市の見解は。②大幅な公費投入が行われないと保険料率の引き上げにつながるのか。

答 ①県内自治体は、統一する理念は一致し、段階的にすすめるため丁寧に協議している。②国からの公費の維持と拡充を求めていく。

ホームページ、ぜひご利用ください！

市のホームページでは、意見書の全文や本会議の会議録、議会活動などがご覧いただけます。ぜひ、ご利用ください。

吉川市議会



三郷市竜巻被害に対し、お見舞い申し上げます。

7月26日に発生した三郷市での竜巻被害に対する支援のため、市議会からお見舞金をお送りしました。



吉川美南駅東口区画整理の保留地処分価格の再検討を

齋藤 詔治



問 コロナウイルス感染症の影響により、吉川市の財政は財源不足が予想されます。吉川美南駅東口区画整理事業地の保留地処分は、地権者並びに吉川市民にとって大変重要です。既に産業ゾーンの第一回売却が、一坪約35万円で行われています。令和2年9月末、第二回産業ゾーンの売却を一坪平均35万4千円、11月中に第一回商業業務ゾーンの売却を一坪44万6千円で募集受付が行われます(金額は最低譲渡価格です)。いずれも吉川駅北口周辺や吉川美南駅西口周辺等の地価公示価格・路線価・現在の市場価格等よりも安価です。安価で処分されることは、購入者(企業)に対し供与と疑われる行為であり、市民と地権者の皆さんに対する信頼を損ないます。価格の決定は土地鑑定評価だけでなく、地価公示価格や路線価並びに市場価格等を思慮し、公平・公正に決定すべきです。

答 保留地処分価格を定めるには、土地区画整理審議会の同意を得て、選任した評価委員の意見を聞かなければならず、適正な手続きにより定めており、安価ではありません。

稲葉剛治議員に対し 反省を求める決議

令和2年9月11日、建設生活常任委員会での質疑において、発言中の伊藤正勝議員に対し、不規則発言を繰り返す、発言を威圧的な言動で妨害し、審議を妨げ、秩序を乱しました。加えて、当日の本人のSNSにおいて、自己の行為を顧みず、議会運営を務める議員に対し、批判と受け取れる投稿がされました。

会派代表者会議から、議事進行を妨げ、委員会の秩序を乱し、誤った情報の発信に対し、謝罪及び投稿の取消しを求めたにもかかわらず、反省の態度が見られないことは、極めて不誠実であり、議会人としてのモラルが欠落していると思わざるを得ません。

よって、稲葉剛治議員に対し、反省を促すとともに、今後、議会での秩序を乱すような発言、誤解を招くようなSNSでの表現等を慎むよう強く求めます。

議員提出議案概要

決議

1件の決議を可決しました。

— 討 論 —

賛成 岩田 京子 議員

私も傍聴していたが、稲葉議員は真つ当な質疑をしている他議員に対し、質問を妨げるような威圧的な言動を繰り返した。反省を求める決議は妥当である。また、一部を切り取った誤解を招くSNS発信についても、今後、気をつけてもらいたい。

反対 小野 潔 議員

代表者会議にてある代表から「発言は恫喝である」と、恫喝とは脅しとも言える。論点は恫喝かどうか。建設生活常任委員長より見解を伺う。「庄は感じたが、いつも通りの委員会であった」との事。委員長が問題視していない為、決議には反対とする。

反対 林 美希 議員

決議に対し、3名の議員が討論を行いました。

委員会進行を妨げたところがあるが、委員長に対し進行についての指摘の範囲。SNS発信がどの部分が誤りか示されていない。非公開の代表者会議を根拠とし、質疑でも答えず、市民への説明義務を果たしていない。反対の立場を取る。

意見書

意見書とは、地方自治法第99条に基づき、市の公益に関することについて、国会や関係行政庁に対し、議会の意見をまとめて提出する文書のことです。

今定例会には4件の意見書が提出され、次の2件を可決、内閣総理大臣等へ送付しました。

新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方税財源の確保を求める意見書（全文）

新型コロナウイルス感染症が世界的に蔓延し、わが国は、戦後最大の経済危機に直面している。地域経済にも大きな影響が及び、本年度はもとより来年度においても、地方税・地方交付税など一般財源の激減が避けがたくなっている。

地方自治体では、医療介護、子育て、地域の防災・減災、雇用の確保など喫緊の財政需要への対応はじめ、長期化する感染症対策にも迫られ、地方財政は巨額の財政不足を生じ、これまでにはない厳しい状況に陥ることが予想される。

よって、国においては、令和3年

度地方財政対策及び地方税制改正に向け、左記事項を確実に実現されるよう、強く要望する。

記

1 地方の安定的な財政運営に必要な地方税、地方交付税などの一般財源総額を確保すること。その際、臨時財政対策債が累積することのないよう、発行額の縮減に努めるとともに、償還財源を確保すること。

2 地方交付税については、引き続き財源保障機能と財源調整機能の両機能が適切に発揮できるよう総額を確保すること。

3 令和2年度の地方税収が大幅に減収となることが予想されることにから、思い切った減収補填措置を講じるとともに、減収補填債の対象となる税目についても、地方消費税を含め弾力的に対応すること。

4 税源の偏在性が小さく、税収が安定的な地方税体系の構築に努めるとともに、国税・地方税の政策税制については、積極的な整理合理化を図り、新設・拡充・継続に当たっては、

有効性・緊急性を厳格に判断すること。
5 とりわけ、固定資産税は、市町村の極めて重要な基幹税であり、制度の根幹に影響する見直しは、土地・家屋・償却資産を問わず、断じて行わないこと。先の緊急経済対策として講じた特例措置は、臨時・異例の措置として、やむを得ないものであったが、本来国庫補助金などにより対応すべきものである。よって、今回限りの措置とし、期限の到来をもって確実に終了すること。

子どもたちの学び、心身のケア、安心安全な教育環境を保障するために少人数学級の実施を求める意見書（一部抜粋）

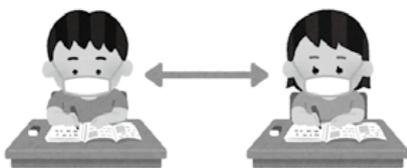
新型コロナウイルス感染から、子どもと教職員の健康と命をいかに守っていくかは重要な課題である。

感染症対策のために教員増が必要である。全国知事会、全国市長会、全国町村会の地方3団体は、萩生田光一文部科学大臣に少人数学級を求める緊急提言を提出。「現在の40人学級では感染症予防のため児童・生徒間の十分な距離を確保することが困難」だとして、「少人数編成を可能とする教員の確保」を求めている。さ

らに、「今後予想される感染症の再拡大時においても子どもの学びを保障し」「学校休業等の緊急時においてもオンライン学習ができる環境を充実させ、最適な学びを実現する」ために、「少人数によるきめ細やかな指導体制が必要である」として、教員の確保やICT教育人材の配置、財政措置の拡充などを強く要望している。

政府の「骨太方針2020」も「少人数によるきめ細かな指導体制の計画的な整備」について「関係者間で丁寧検討すること」を求め、来年度予算編成にかかわる重要な局面となっている。

よって政府は、子どもたちを感染から守り、仲間との共同の学びと豊かな学校生活を送れるために、今こそ少人数学級に踏み出すよう強く求める。



9月定例会審議結果一覧

○=賛成、×=反対、議=議長(議決に加わりません)
◎=議案提出者、—=退席、除=除斥

	議決結果	自由民主党			市民の会			未来会議			共産			公明			無	無			
		赤出川 義夫	吉川 敏幸	加藤 克明	中嶋 通治	松崎 誠	岩田 京子	稲垣 茂行	伊藤 正勝	齋藤 詔治	稲葉 剛治	戸田 馨	林 美希	遠藤 義法	飯島 正義	雪田 きよみ	小野 潔	五十嵐 恵千子	大泉 日出男	成本 直寛	降旗 聡
＜市長提出議案＞																					
教育委員会委員の任命について	同意	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
工事請負契約の締結について	可決	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
工事請負契約の締結について	可決	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和元年度吉川市一般会計歳入歳出の決算の認定について	認定	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○
令和元年吉川市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○
令和元年度吉川市農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和元年度吉川市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○
令和元年度吉川市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○
令和元年度吉川市吉川美南駅東口周辺地区土地区画整理事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和元年度吉川市水道事業会計利益の処分及び決算の認定について	可決及び認定	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和元年度吉川市下水道事業会計決算の認定について	認定	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和2年度吉川市一般会計補正予算(第5号)	可決	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和2年度吉川市介護保険特別会計補正予算(第1号)	可決	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
財産の取得について	可決	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
＜議員提出議案＞																					
稲葉剛治議員に対し反省を求める決議(※1)	可決	○	○	議	○	○	○	○	○	◎	除	×	×	○	○	○	×	×	×	○	○
新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方税財源の確保を求める意見書	可決	○	○	議	○	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ゲノム編集技術応用食品の表示義務を求める意見書	否決	×	×	議	×	×	◎	○	○	○	×	×	×	○	○	○	×	×	×	○	○
子どもたちの学び、心身のケア、安心安全な教育環境を保障するために少人数学級の実施を求める意見書	可決	×	×	議	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	◎	○	○	○	○	×	×
核兵器禁止条約に参加することを求める意見書	否決	×	×	議	×	×	○	○	○	○	×	×	×	◎	○	○	×	×	×	○	○

臨時会審議結果一覧

○=賛成、×=反対、議=議長(議決に加わりません)

◎=議案提出者、—=退席、除=除斥

議決結果	自由民主党					市民の会				未来会議			共産		公明		無	無		
	赤出川 義夫	吉川 敏幸	加藤 克明	中嶋 通治	松崎 誠	岩田 京子	稲垣 茂行	伊藤 正勝	齋藤 詔治	稲葉 剛治	戸田 馨	林 美希	遠藤 義法	飯島 正義	雪田 きよみ	小野 潔	五十嵐 恵千子	大泉 日出男	成本 直寛	降旗 聡
令和2年第6回(7月)臨時会 7月31日 ◀市長提出議案▶																				
令和2年度吉川市一般会計補正予算 (第4号)	可決	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和2年度吉川市水道事業会計補正予算 (第1号)	可決	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

*会派名の「共産」は「日本共産党吉川市議員団」、「公明」は「公明党吉川市議員団」、「自由民主党」は「自由民主党吉川市議員団」、「未来会議」は「未来会議よしかわ」の略です。「無」は会派に属さないものです。

※1 稲葉剛治議員は、一身上に関する事件のため除斥し、採決には加わりませんでした。

用語説明

除斥…議会における審議の公正を期すために、審議事件と一定の利害関係を有する議員は、当該事件の審議に参加することができない制度。(地方自治法第117条)

◆ご意見・ご感想をお寄せください◆

議会だよりをご覧になったご意見・ご感想をお寄せください

〒342-8501

吉川市きよみ野一丁目1番地 吉川市役所 議会事務局

FAX 048-(982) 5391

新型コロナウイルス感染症対策への ご協力ありがとうございました

前定例会に引き続き、新型コロナウイルス感染症対策にご協力いただき、ありがとうございました。9月定例会では、消毒を行いながら、市議会議員選挙後初めての市政に対する一般質問を行うことができました。9月27日には市内在住者の累計で32人目の新型コロナウイルス感染者が発表されるなど、まだまだ予断を許さない状況ではありますが、皆様のご協力のもと議会運営を進めて参りたいと思います。今後、どうぞよろしくお願いいたします。



次定例会の予定 市の重要な施策や皆さんに身近な問題が審議されます

日	月	火	水	木	金	土
	11月30日 開会日	12月1日 休会日	12月2日 本会議 (議案審議)	12月3日 委員会 (総務水道・ 文教福祉)	12月4日 委員会 (建設生活)	12月5日 休会日
12月6日 休会日	12月7日 委員会 (請願審査)	12月8日 休会日	12月9日 本会議 (委員長報告)	12月10日 一般質問	12月11日 一般質問	12月12日 休会日
12月13日 休会日	12月14日 一般質問 閉会日	本会議は10時、委員会は9時30分に開会します。 本会議の様子は、ホームページでもご覧になれます。				

※傍聴について

新型コロナウイルス感染症拡大予防のため、傍聴自粛のご協力をお願いする可能性があります。

「よしかわ議会だより」の音声版を「朗読サークルきんもくせい」の協力で作成しています。
ご希望の方は、議会事務局へご連絡ください。

編集後記

残暑厳しいなか始まった今定例会も、虫の音も深まり秋を感じる頃閉会を迎えることが出来ました。令和元年度一般会計決算、市内小中学校全児童生徒への学習用タブレット端末6458台は全会一致で可決されました。また、これまでコロナウイルス感染症に関する対応として、市執行部への業務への影響を考慮し、本会議での一般質問を書面での通告・答弁としていましたが、今定例会より通常の開催となりました。なかなか収束することのない新型コロナウイルスと共存していくため、新しい生活様式が様々な場面で求められています。そんな中でも、市民のみなさんが安心・安全に生活していくことができるよう市議会として取り組んで参ります。

赤出川 義夫

表紙の写真



9月28日、29日、10月1日の3日間に分け、吉川市立美南小学校6年生、5クラス174名の皆さんが、社会科学見学に訪れました。例年の国会議事堂見学に変えての吉川市議会見学。当日は、議場の見学のほか、議会の模擬体験を行いました。各クラスが自分達で考えた議題について、本会議さながらに熱い議論を行っていました。小学生議員の皆様おつかれさまでした。